

フォナック

ターゲット7.1

フォナック ターゲット フィッティングガイド



フォナック ターゲット フィッティング ソフトは、適格な聴覚専門家が顧客の固有要件に合わせた補聴器を設定、プログラム、フィッティングするために使用します。このガイドは、フォナック ターゲットで補聴器をフィッティングするための詳細な入門書です。

フォナック ターゲット開始画面で **[News]**(ニュース)も閲覧できます。

フォナック ターゲットの以下の機能については、それぞれのフィッティングガイドをご利用いただけます(*指定された国に限ります)。

- ジュニアモード
- フォナック リモートサポート*
- フォナック ターゲット/ALPS*
- ターゲットマッチ
- 耳鳴りノイズ・バランス
- 検証

目次

構成とナビゲーション.....	2
補聴器と CROS の準備	2
Phonak Trial™ (フォナック トライアル)の準備	3
レシーバ チェック	4
音響パラメータのチェック.....	4
フィッティング.....	5
基本調整.....	6
微調整.....	7
サウンドリカバー2.....	8
機器オプション.....	11
バイモーダル フィッティングの特記事項	11
記号の情報と説明.....	14
システム要件.....	15

構成とナビゲーション

3つのタブ([Client](顧客)、[Instruments](機器)、[Fitting](フィッティング)、およびその上のダッシュボードに、簡単ナビゲーションと状態に関する情報が表示されます。

ダッシュボードでは、フィッティング状態が示され、ショートカットも利用できます。

								
Client Target, Phonak			Instruments Audéo P90-312			Fitting Calm situation		
個人データやオーディオグラムなどの全ての顧客情報がこのタブにあります。			全ての補聴器、音響パラメータ、リモコン、他のアクセサリがここに 있습니다。 注: 電池の充電状態 (充電式のみ) と Roger™ (ロジャー) のライセンス (ロジャーダイレクトのみ) に関する詳細を見るには、補聴器アイコンの上にマウスポインタを重ねてください。			全ての機器調整をここで行います。		

補聴器と CROS の準備

アイキューブII / Noahlink Wireless

補聴器へのケーブルは不要です。電池を入れ、電池収納部を閉じ、補聴器の電源を入れれば完了です。充電式の補聴器に電源を入れます。

注: CROS II または CROS B のフィッティングについては、CROS システムですばやく微調整とデモンストレーションができるアイキューブIIの使用が推奨されています。

CROS II は、ベンチャー補聴器のみに適合します。

CROS B は、ビロング補聴器(充電式を除く)に適合します。

CROS B-R は、フォナック オーディオ B-R 補聴器のみに適合します。

NOAHlink または HI-PRO

プログラミング用のケーブルを補聴器とフィッティング機器に接続します。

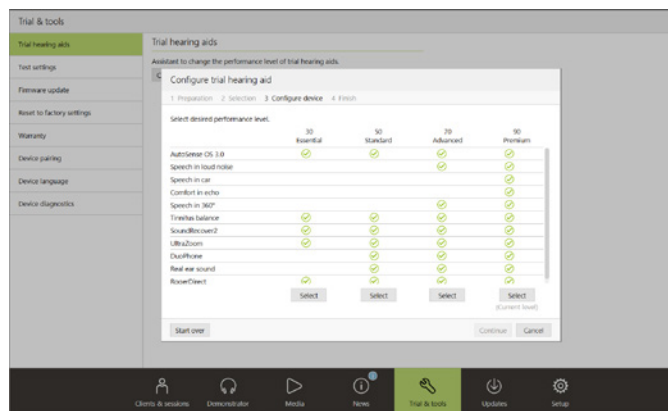
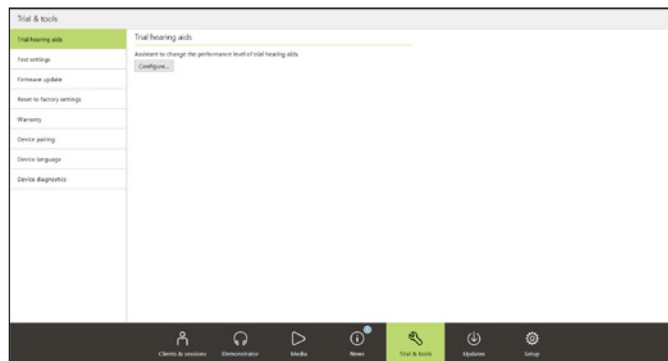
CROS フィッティングでは、ケーブルを接続した状態で CROS 機能をデモンストレーションすることはできません。

Phonak Trial™ の準備

フォナックのトライアル補聴器では、1つの機器でパフォーマンスレベルを変更することができます。[Trial & tools](トライアルとツール)をクリックし、[Trial hearing aids](トライアル補聴器)を選択し、[Configure](クラス変更の設定)を押して開始します。

注: フォナックのトライアル補聴器は、フォナックバート(耳あな型)では利用できません。

使用したいパフォーマンスレベルを選択し、[Continue](続行)を押します。プロセスが完了すると、機器はフィッティングセッション内でフィッティング可能な状態になります。



補聴器の接続

フィッティングセッションを開き、正しいフィッティング機器が表示されていることを確認します。フィッティング機器を変更するには、ダッシュボードのフィッティング機器の隣に表示されているプルダウン矢印を使用します。

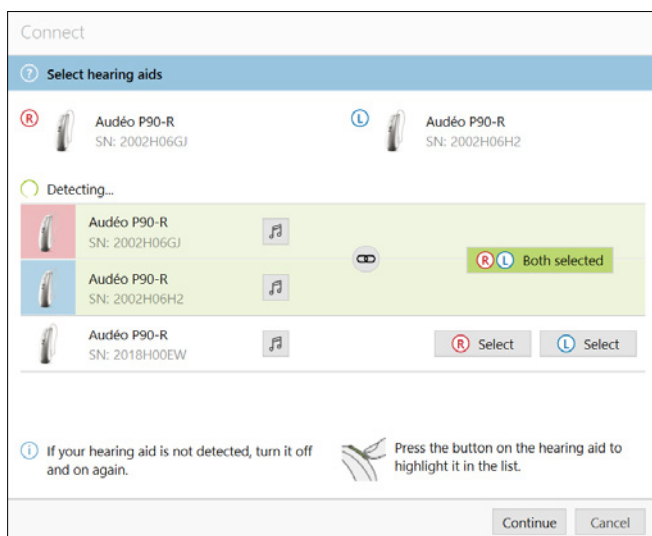
[Connect](接続)をクリックしてフィッティングを開始します。接続した補聴器がダッシュボードに表示されます。ダイレクト接続が可能な機器では、ペアリングが可能な機器が自動的に表示されます。

注:

- 機器が見つからない場合は、電池ホルダーを開閉するか、充電式補聴器の電源を入れなおして、ペアリングモードにします。
- 複数の機器を利用できる場合、または顧客に装用する側(左右)を確認する場合は、補聴器上のプログラムスイッチまたは多機能ボタンを押してリスト内で該当機器をハイライトします。
- 以前ペアとして検索された機器は、リンク済みのペアとして検出されます。

アダプティブ・フォナック・デジタル(処方式)を使用して新しいフィッティングを行う場合は、常に利用可能なフィッティングセッションの情報に基づき、推奨装用経験レベルが提供されます。

NOAH からのオーディオグラムが自動的にフォナックターゲットにインポートされ、仮計算に反映されます。フォナックターゲットのスタンドアローンでは、[Audiogram](オーディオグラム)タブからオーディオグラムを入力します。



レシーバチェック

フォナック ターゲットは、初めて機器が接続されると、RIC 補聴器に装着されているレシーバが **[Acoustic parameters]**(音響パラメータ)画面で選択されているレシーバと一致しているかチェックします。

一致していない場合は、フォナック ターゲットがその情報を通知し、レシーバチェックするよう指示メッセージを表示します。その場合、レシーバを取り替えるか、音響パラメータの選択を変更することができます。

レシーバの再チェックを開始するには、**[Acoustic parameters]**(音響パラメータ)画面の **[Check]**(チェック)をクリックします。

注: ビロング、マーベル、パラダイスプラットフォームの RIC 補聴器のみに適用されます。

音響パラメータのチェック

フォナック ターゲットは音響パラメータが同じであればまとめて自動的にリンクさせます。音響パラメータはいつでも表示、変更、リンク解除できます。

[Instruments](機器) > **[Acoustic parameters]**(音響パラメータ)タブの順にクリックします。正しいカプリング情報であるか確認または変更してください。

入力可能であればカプリングコードを入力してください。カプリングコードは、フォナックのオーダーメイド耳せんに印字されています。そのカプリングコードに、顧客個人の音響パラメータが取り込まれます。

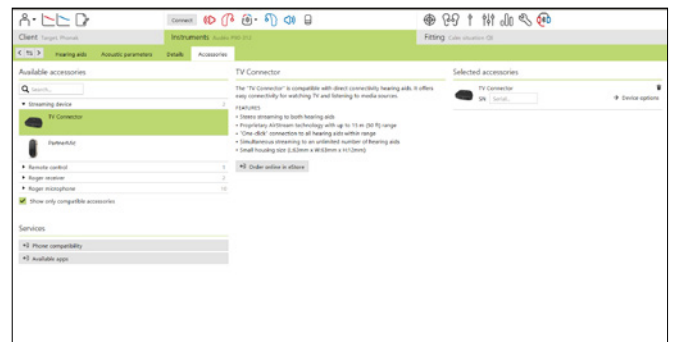
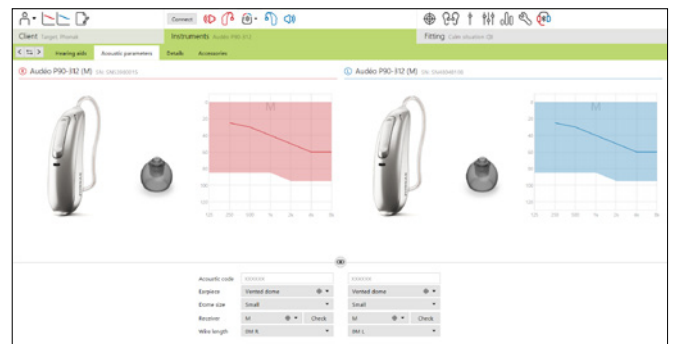
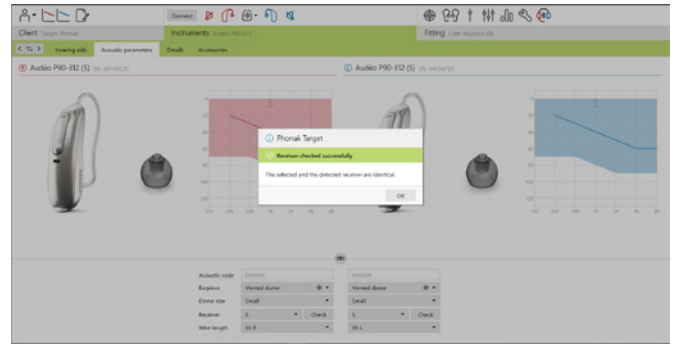
アクセサリー

接続した補聴器によっては、フィッティングセッション中に接続されたアクセサリーを自動的に識別できます。対応するアクセサリーは、ダッシュボード内で接続した補聴器の横に表示されます。

アクセサリーは、**[Instruments]**(機器) > **[Accessories]**(アクセサリー)タブから手動選択もできます。

アクセサリーは保存の際に保存ダイアログにリストされます。

注: アクセサリーとストリーミングする際、CROS は自動的に切断されます。ストリーミングが停止すると、アクセサリーは自動的に再接続されます。



フィッティング

[Fitting](フィッティング)をクリックして、[Feedback & real ear test](ハウリングと実耳テスト)にアクセスします。

ハウリングテストは、両耳で行うことも、片耳ずつ行うこともできます。[R] / [Start both](両耳で開始)/ [L] をクリックして、テストを開始します。

注: リモートサポートのセッション中においては、ハウリングテストは実施できません。

テスト結果を使用して予測 RECD と音響パラメータを計算するには、チェックボックス [Use feedback test result to predict vent](ハウリングテストの結果を予測ベントに使用する)を選択します。システムにおいてベント評価が可能な場合、このチェックボックスが使用できます。

注: フォナック パラダイス補聴器は利得の限界をさらに上げるため、ハウリング閾値のオーバーチューニングが可能です。オーバーチューニングするには、矢印をクリックしてください。利得の限界まで上がると、上がった分の利得の限界を示すため紫色の領域が現れます。赤色の領域が現れた場合、それはハウリングのリスクとひずみがさらに大きい領域を示します。

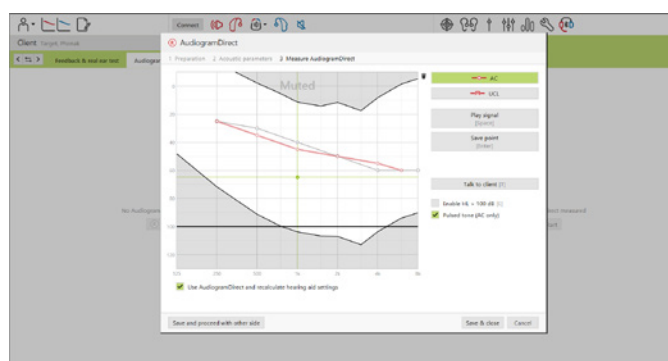
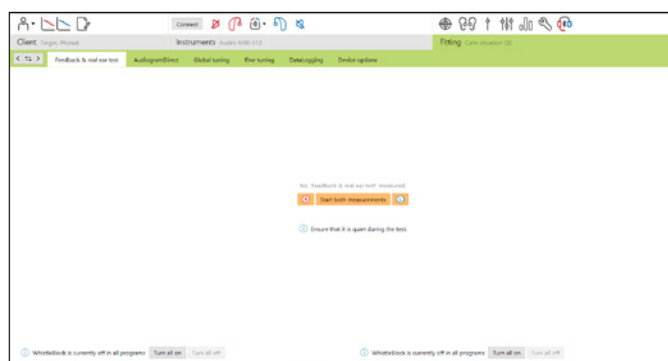
オーディオグラムダイレクト

オーディオグラムダイレクトは、フォナック ターゲット内で行うその場の聴力検査です。診断的な聴力検査に代わるものではありません。オーディオグラムダイレクトを使う前に [Feedback & real ear test](ハウリングと実耳テスト)が実施済みであることを確認してください。

接続した補聴器で気導聴力(AC)閾値と不快閾値(UCL)をテストするには、[AudiogramDirect](オーディオグラムダイレクト) > [Start](開始)の順にクリックしてくださいリモートサポートセッション中は不快閾値の測定は無効です。

過去の聴力検査結果については、[History](履歴)をクリックして比較およびレビューできます。

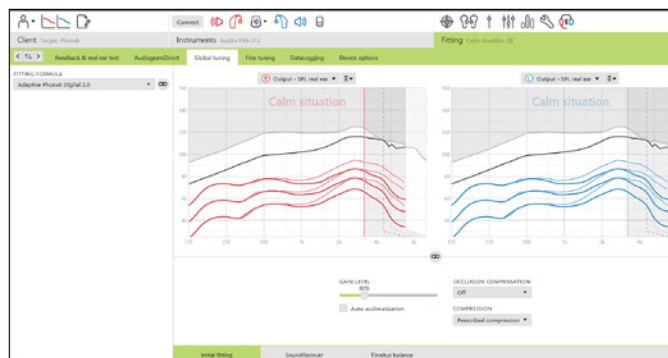
気導聴力測定および不快閾値測定の初期設定動作を変更するには、[Startup](スタートアップ) > [Fitting session](フィッティングセッション) > [AudiogramDirect](オーディオグラムダイレクト)の順に進みます。



基本調整

利得レベル、閉塞感対処、圧縮比の調整が必要な場合は、[Global tuning](基本調整) > [Initial fitting](初期フィッティング)の順に進んでください。利得レベルおよび圧縮比の設定は顧客の装用経験および選択された処方式に基づいています。

接続した補聴器によっては、画面下部にあるタブから [Tinnitus Balance](耳鳴りノイズ・バランス)、[CROS Balance](CROSバランス)などの追加ツールにアクセスできます。CROS と補聴器のラウドネス比率を調整するには、[CROS Balance](CROSバランス)をクリックします



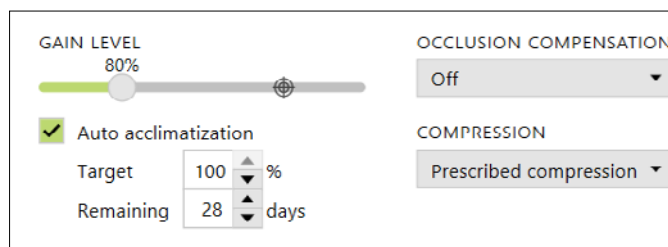
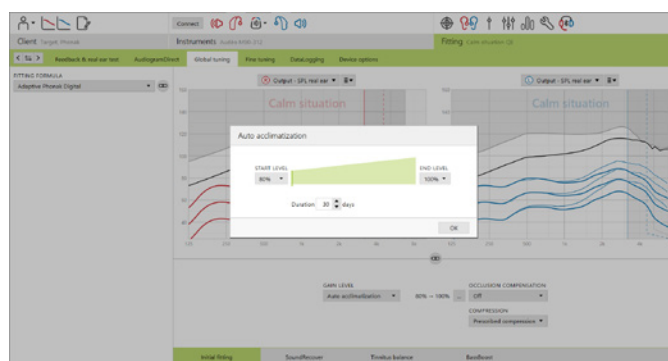
自動順応マネージャ

自動順応マネージャを使用する前に、[Feedback & real ear test](ハウリングと実耳テスト)が実施済みであることを確認してください。

[Initial fitting](初期フィッティング)タブの利得レベルから [Auto acclimatization](自動順応マネージャ)を選択します。

[...] をクリックして、開始時のレベル、終了時のレベル、および補聴器の利得が設定した終了時のレベルまで自動的に上昇する所要時間を指定します。

注: フォナック パラダイス補聴器の場合は、自動順応マネージャを作動させる前に [Feedback & real ear test](ハウリングと実耳テスト)を実施する必要があります。自動順応マネージャを作動させるには、チェックボックスにチェックを入れます。目標利得、および顧客が目標利得に到達するまでに必要な継続日数を指定します。



リアルタイムディスプレイ

リアルタイムディスプレイにアクセスするには、画面上部メニューバーの [Client view](顧客画面)のチェックボックスにチェックを入れます。

リアルタイムディスプレイは全ての補聴器で利用できるフィッティングカーブ表示オプションで、顧客にわかりやすい拡大画面で、ディスプレイがもう1台あれば顧客用ディスプレイとして表示できます。

特にステレオまたはサラウンドサウンドの音サンプルを用いる場合、語音明瞭度の改善、利得、出力、サウンドリカバーおよびチャンネル解像度を簡単にデモンストレーションできます。

微調整

[Fine tuning](微調整)画面の左側は、プログラムの設定確認に使用します。

全てのプログラムを同時に調整するには、[All programs](全てのプログラム)をクリックします。全てのオートマチックプログラムを修正するには、[AutoSense OS](オートセンス OS)をクリックします。ストリーミング用のオートセンス OSを修正するには、[AutoSense OS (streaming)](オートセンス OS (ストリーミング))をクリックします。

単一プログラムを修正するには、プログラムリスト内から [Calm situation](静かな環境)など選択し、必要に応じて調整します。

追加プログラムを追加するには、[+] アイコンをクリックします。

プログラムリスト上部の [Program manager](プログラムマネージャ)からプログラムを管理します。ここでは、スタートアッププログラム、プログラム構成、ストリーミングプログラムをカスタマイズできます。元に戻す/やり直しの矢印がメニューバーの [Fine tuning](微調整)の隣にあり、微調整画面でステップを元に戻したり、やり直したりするために使用できます。

利得&MPO

調整したい利得値をカーソルで選択します。利得値は、大中小の入力音で調整可能です。装用者のオーディオプログラムに UCL 値が入力されると最適フィッティングレンジが使用できます。

全てのチャンネルで MPO を同時に修正するには、MPO 値の左にある [MPO] をクリックします。全体の利得を変更するには、[Gain](利得)をクリックします。

各チャンネルの圧縮比は、利得値の直下にある行に表示されます。

オーディビリティファインチューニング

選択可能な音サンプルと関連する利得は特性画面に表示されます。音サンプルは特定の聞き取り環境をシミュレートして再生できます。

利得値は、大中小の入力音について表示されます。選択したサウンドタイプの可聴性を向上するのに関連する利得レベルとその周波数のみ調整でき、異なる色付き領域(赤色/右側、青色/左側)で表示されます。



画面下部のタブから、フィッティングツールにアクセスできます。各ツールには、補聴器を微調整するための特殊な修正機能が含まれます。

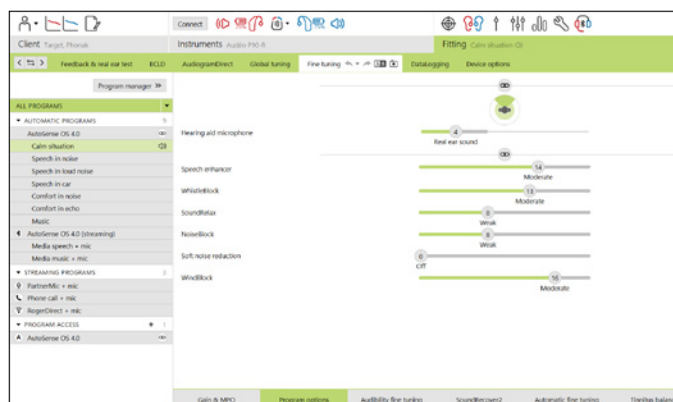


プログラム オプション

プログラム オプションは、初期設定から調整できます。それぞれの機能はプログラム毎に有効/無効を選択したり、レベルを変更したりできます。各スケール内で使用可能な幅が表示されます。この幅はパフォーマンスレベルにより異なります。

ダイレクト通信補聴器では、ストリーミングにアクセスする切替動作の初期設定を変更できます(テレビコネクター、Roger™ (ロジャー)、PartnerMic™ (パートナーマイク))。

- **[Automatic]**(オートマチック) - 補聴器は自動的に切り替わり、ストリーミング音声を受信します(初期設定)。
- **[Manual]**(マニュアル) - ビープ音は聞こえません。そのプログラムが最終プログラムとして追加されます。
- **[Manual (with beep)]**(マニュアル(ビープ音あり)) - ビープ音が補聴器内で聞こえます。顧客はそのままストリーミング音声を受信するか手動選択できます。



サウンドリカバー2

サウンドリカバー2用の個別設定は、最初に仮計算で設定され、その後に微調整が可能になります。両耳フィッティングの場合は、カットオフ周波数および周波数圧縮比が聞こえやすい方の耳に基づいて計算されます。以下のステップは成人用のフィッティングに適用されます。ジュニアフィッティングはジュニアモードフィッティングガイドおよびベストプラクティスをご参照ください：サウンドリカバー2 ジュニア検証

サウンドリカバー2は、適応動作が可能な周波数圧縮システムです。サウンドリカバー2は、2つのカットオフ周波数 CT1と CT2で定義されます。

サウンドリカバー2は、初期設定で以下のようになっています。

- オン: 8 kHz の閾値が45 dB HL 以下の水平型または漸傾型の難聴に対して。
- オフ: 逆漸傾型の難聴(8 kHz では 3 kHz より 30 dB 以上良好)に対して。

初期設定でオンの場合、サウンドリカバー2は全てのプログラムで有効です。**[Enable SoundRecover2]** (サウンドリカバー2を有効にする)のチェックボックスをクリックすることで、サウンドリカバー2を無効にできます。



サウンドリカバー2の設定は特性画面で確認できます。色付き領域は、サウンドリカバー2が有効になっている周波数領域を示しています。

- 最初の実線は、カットオフ周波数1 (CT1)です。
- 点線は、カットオフ周波数2 (CT2)です。
- 3番目の線は、最大出力周波数です。

アダプティブコンプレッションは、CT1とCT2の間の色付き領域内の周波数に対して適用されます。高音域にエネルギーが集まっている場合、この周波数領域が圧縮されます。

CT2と最大出力周波数の間の色付き領域内の周波数は、常に圧縮されます。CT1より低い周波数は、常に圧縮されません。最大出力周波数を超える周波数の出力はありません。

サウンドリカバー2を微調整するには、**[Fine tuning]** (微調整) > **[SoundRecover2]** (サウンドリカバー2)の順にクリックします。スライダーを動かすと、カットオフ周波数、圧縮比、および最大出力周波数に影響します。

/s/と/sh/を検出する能力を増大するには、**[Audibility]** (可聴性) に向けてスライドします。

/s/と/sh/の差を識別する能力を増大するには、**[Distinction]** (識別性) に向けてスライドします。

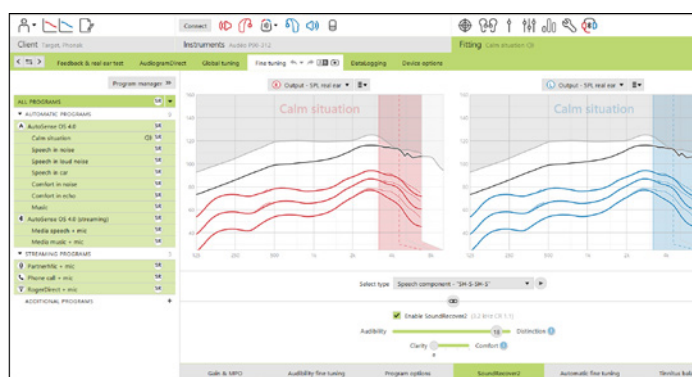
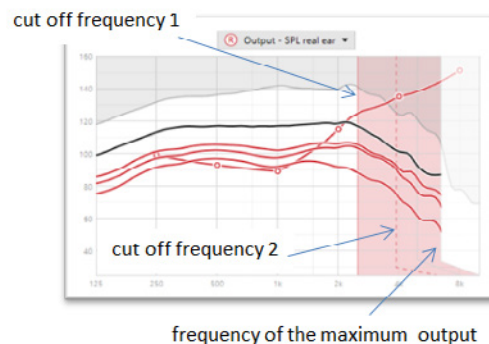
男性の声、自声音、音楽など、音の自然さを増大するには、**[Comfort]** (快適性) に向けてスライドします。

注: 微調整する場合は、**[Audibility/Distinction]** (可聴性/識別性) スライダーから調整することをお勧めします。低音域と中音域の音質を最適化するため、**[Audibility/Distinction]** (可聴性/識別性) スライダーを調整するたびに、**[Clarity/Comfort]** (明瞭度/快適性) スライダーはリセットされます。

検証方法:

以下の検証方法は成人用に推奨されるもので、良好手法から最良手法(ベストプラクティス)の間に分類されます。

1. 良好: 肉声による/sh/や/s/または「Mississippi」で検出を確認します。「moon」や「name」などの語音で母音を確認します。
2. 比較的良好: 検査室内での検証
3. 最良: 音素認識テスト - 特に、高度重度難聴を抱える成人に対して微調整が必要な場合。(詳細については、音素認識テストの取扱説明書を参照してください)



TK/利得 (35 dB)

非常に小さい (G35) 入力音の増幅は、この調整ツールで調整できます。非常に小さい入力音の利得を増加させるとニーポイント閾値 (TK) が減少し、利得を減少させるとニーポイント閾値 TK が増加します。

調整したい値をカーソルで選択します。利得値の下には、各チャンネルの TK 値が表示されます。非常に小さい入力音の利得/出力カーブが特性画面に表示されます。

注: このタブは、フォナック パラダイス補聴器では利用できません。小さい入力音を調整するには、**[Program options]** (プログラム オプション) でソフトノイズリダクションのスライダーを使用します。

オートマチックファインチューニング

これは、状況ベースの微調整ツールです。使用可能な調整は、音環境に関する装用者の評価により異なります。

微調整ステップは、操作を適用する前に明白に表示されます。プログラムの選択によっては、推奨の音サンプルが事前に選択されます。

音サンプルは、聞き取り環境をシミュレーションするために再生できます。

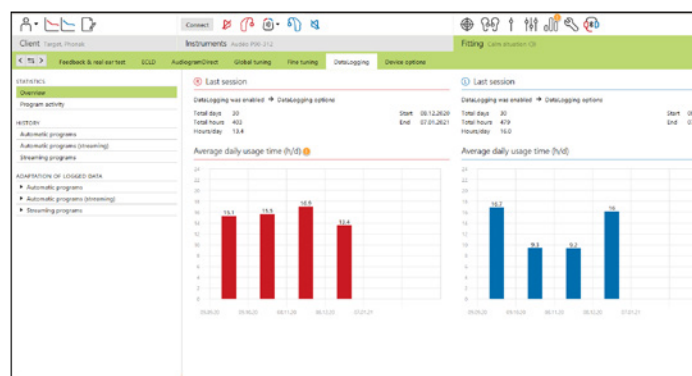
音素認識テストの結果

前の音素認識テストに関する結果が表示され、フィッティングを改善するため適用できます。テスト結果を NOAH セッションリストで使用可能な場合にのみ、**[PPT results]** (音素認識テスト結果) 画面にアクセスできます。

注: アダプティブ・フォナック・デジタル (処方式) を使用する場合に限り、微調整の推奨値が提供されます。

データログ

データログからは、ユーザーの聞こえの環境およびその時間についての情報が得られます。データログ情報にアクセスするには、**[Fitting]** (フィッティング) > **[Data logging]** (データログ) の順に進みます。



機器オプション

[Device options](機器オプション)をクリックすることで、多機能ボタン、お知らせ音と警告音、スタートアップ動作、データログなどの補聴器オプションを設定できます。

補聴器を接続すると、[Signals & alerts](お知らせ音と警告音)では補聴器にて各設定をデモンストレーションできます。

ダイレクト接続が可能な機器のみ:

- [Bluetooth]をクリックすると、Bluetooth名称や使用する側の設定、ペアリングの管理などの追加設定を確認できます。
- ロジャーダイレクトがインストールされているかは、画面左側の [RogerDirect](ロジャーダイレクト)をクリックするとインストール状態を確認することができます。ダッシュボード内で補聴器アイコンの上にマウスポインタを重ねても、インストール状態を確認できます。

フォナック パラダイス補聴器のみ:

- タップコントロールは、[Manual controls](多機能ボタン)で設定できます。タップコントロールは、電話通話の受話/終話、ストリーミングの一時停止/再生、およびスマートフォンの音声アシスタントの開始/停止のために使用できます。
- ダブルタップをデモンストレーションするには、[Tap control training](タップコントロールを練習する)をクリックします。

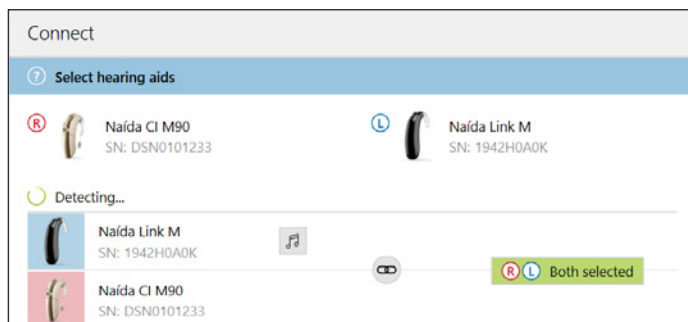
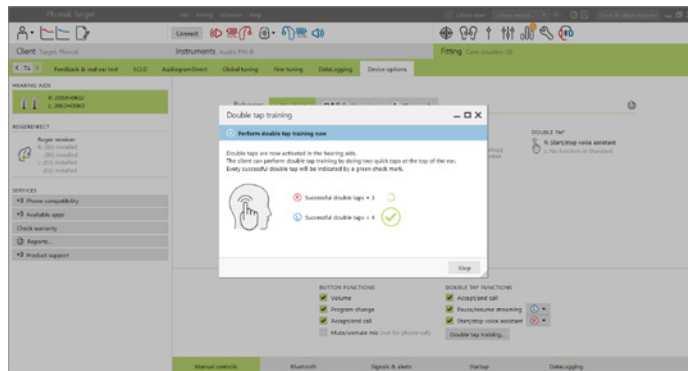
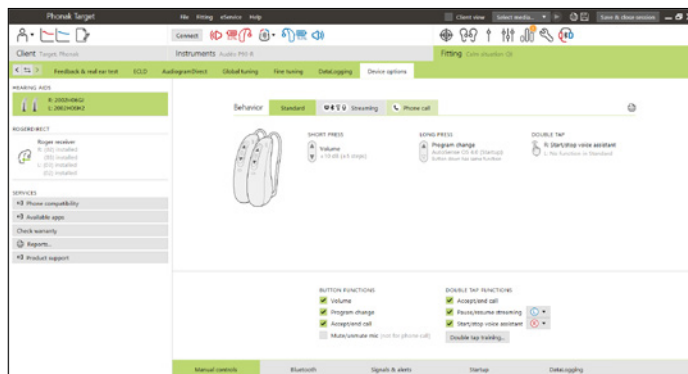
バイモダル フィッティングの特記事項

ナイーダリンク M およびスカイリンク M 補聴器は、アドバンスド バイオニクス(AB)人工内耳(CI)のサウンドプロセッサを用いて、バイモダル設定でフィッティングできます。リンク M 補聴器では、CI による両耳装用機能(ボリュームコントロール、プログラム構成、ストリーミングを含む)を利用できます。

フォナック リンク M

ナイーダリンク M 補聴器は、AB ナイーダ CI マーベルのサウンドプロセッサに対応しています。スカイリンク M 補聴器は、AB スカイ CI マーベルのサウンドプロセッサに対応しています。小児のお客様向けバイモダルフィッティングの特記事項については、ジュニアモードのフィッティングガイドを参照してください。

フィッティングセッションを開き、ノアリンクワイヤレスが表示されていることを確認します。補聴器とCIの両方を接続して、フィッティングを開始します。ペアリングが利用可能な機器は、自動的に表示されます。



補聴器と CI を顧客のフィッティングセッションへ接続すると、フォナック ターゲットは、リンク補聴器のプログラム構成と機器オプションを CI に合うように、自動的に調整します。

ナイーダ リンク補聴器と組み合わせると、[Fitting] (フィッティング) の下の [Global tuning] (基本調整) 内で、アダプティブ・フォナック・デジタル・バイモーダル(処方式)を選択できます。

CI は読み込み専用モードになっています。CI に対して変更を行ったり、変更を保存したりすることはできません。補聴器側の関連設定を合わせるために、CI 設定を確認し、その情報を使用できます。

リンク補聴器のフィッティングを完了させるには、標準のフィッティングセッションと同じように、フォナック ターゲットを続けて使用します。利用可能な調整機能には、利得、MPO、処方式、機能の強度、およびマイクロホンの指向性が含まれます。各機能の詳細については、必要に応じて上記ステップを参照してください。

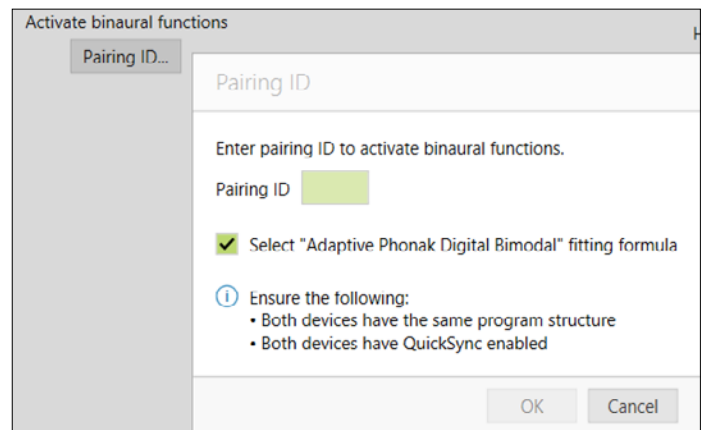
画面右上隅にある [Save & close session] (セッションを保存して閉じる) をクリックしてセッションを閉じます。セッションは、いつでも閉じられます。フィッティングセッションからリンク補聴器と CI を切り離すと、両機器間のワイヤレス接続が自動的に始まります。

フォナック ナイーダ リンク Q

ナイーダ リンク Q 補聴器は、AB CI クエストのサウンドプロセッサに対応しています。補聴器を顧客のフィッティングセッションへ接続したら、フォナック ターゲットにペアリング ID を入力してナイーダ リンク Q のバイモーダル機能のロックを解除します。ペアリング ID は、AB CI フィッティングソフトの SoundWave™ 内で生成されます。ペアリング ID は、バイモーダルフィッティングレポートの中に記載されます。

[Pairing ID] (ペアリング ID) をクリックし、顧客固有のペアリング ID を入力します。アダプティブフォナック デジタル・バイモーダル(処方式)が、フィッティングセッションに適用されます。処方式を変更するには、ボックスのチェックを外します。または、[Fitting] (フィッティング) の下の [Global tuning] (基本調整) で変更します。

ペアリング ID を編集、または変更するには、[Instruments] (機器) をクリックします。[Hearing aids] (補聴器) で、[trashcan icon] (ごみ箱アイコン) をクリックして、ペアリング ID を再入力します。



ペアリング ID を入力しても、プログラム構成、プログラム オプション、または機器オプションは自動的に設定されません。フォナック ターゲットにて、手動で設定する必要があります。必要なプログラムを CI のプログラムに合うように作成、修正するには、バイモーダル フィットングレポートにリスト表示されたプログラム構成を参照してください。

プログラムに対する調整と修正は、[Fine tuning](微調整)で行えます。[Device options](機器オプション)で、補聴器のビーブ音、およびアクセサリ オプションを設定します。補聴器のプログラミングは、CI のサウンドプロセッサのプログラミングには影響しません。

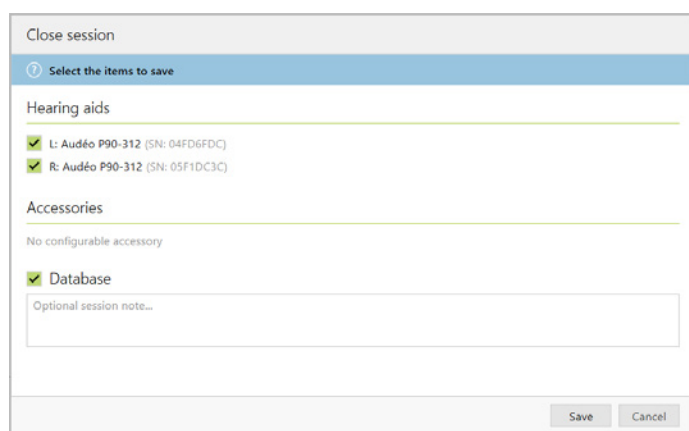
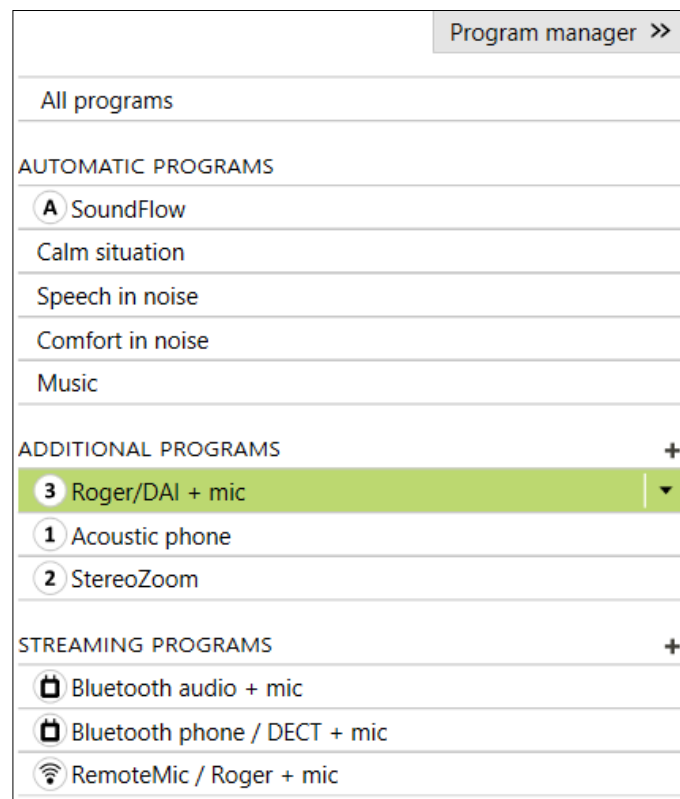
注: コムパイロットは、CI フィットングソフトの SoundWave™ によってのみ、設定できます。前述のペアリングは、ナイーダリンク Q とコムパイロットを自動的にペアリングします。フォナック ターゲットを使ってコムパイロットの接続やコムパイロットの設定変更を行おうとしないでください。

画面右上隅にある [Save & close session](セッションを保存して閉じる)をクリックしてセッションを閉じます。セッションは、いつでも閉じられます。ナイーダリンク Q 補聴器をフィットングセッションから切り離すと、ナイーダリンク Q と CI の間のワイヤレス接続が自動的に始まります。

フィットング セッションの終了

画面右上隅にある [Save & close session](セッションを保存して閉じる)をクリックすれば、いつでもセッションを閉じられます。保存するアイテムを選択します。フォナックのトライアル補聴器では、初期設定で自動的に最大6週間のトライアル期間が設定されます。

標準の保存ダイアログで、補聴器とアクセサリが正常に保存されたことを確認できます。保存し終わると、自動的にフォナック ターゲットの開始画面に移動します。NOAH を利用している場合は、開始画面の右上隅にある [Back to NOAH](NOAH に戻る)をクリックすることでノアに戻ることができます。



記号の情報と説明



CE マークにより、この製品が、医療装置の指令 93/42/EEC を遵守していることを SONOVA は確認します。CE マークに続く番号は、上記の指令下で評価を行った公認機関のコードを表します。



名前、住所、
日付

EU 指令93/42/EEC に定義される記号の組み合わせで、医療機器の製造業者および製造日を示しています。



医療機器を識別するための製造業者のカatalog番号を示しています。



使用説明書を参照してください。使用説明書は www.phonakpro.com ウェブサイトから取得できます。



特長や機能を詳説したり、適用される関連フィッティング情報をハイライトします。



エンドユーザーの体験に影響する可能性のある機能上の制限を説明し、注意すべき重要な情報をハイライトします。



HIMSA 認証記号、NOAHSEAL

システム要件

オペレーティング システム	• Windows 10、Home / Pro / Enterprise / Education • Windows 8 / 8.1、Pro / Enterprise • Windows 7 Enterprise、最新サービスパック、拡張セキュリティ更新プログラム付き
プロセッサ	Intel Core、またはその上位モデル
RAM	4 GB 以上
ハードディスク容量	3 GB 以上
画面解像度	1280 x 768ピクセル以上
グラフィック カード	表示色数 1600万色(24bit)以上
ドライブ	DVD
シリアル COM ポート	RS-232 HI-PRO のみを使用
USB ポート 目的ごとに1つ	• Bluetooth® 技術搭載ワイヤレス アダプタ* • アクセサリー プログラミング • HI-PRO、ただし USB ポート経由で使用する場合 • Noahlink Wireless
プログラミング インターフェイス	Noahlink Wireless / アイキューブII / NOAHlink / RS-232 HI-PRO / HI-PRO USB / HI-PRO2
Noahlink ドライバー	入手可能な最新バージョン
ノアリンクワイヤレス ドライバー	入手可能な最新バージョン
インターネット接続	推奨
サウンドカード	ステレオまたはサラウンド5.1
再生システム	20 Hz ~ 14 kHz (+/- 5 dB)、90 dB
NOAH バージョン	最新バージョン(NOAH 4.4以降) Windows 64ビット オペレーティング システム用の NOAH の制限事項を http://www.himsa.com で確認してください。
ターゲットマッチ	NOAH バージョン4.4.0.2280以降 オトメトリックス オトスイート4.81.00以降 オトメトリックス オリカルフリーフィット(REM 用)、およびオリカル ヒット (検査室での測定用)

*Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。

セキュリティに関する通知:

患者のデータは個人に属するデータなので、適切に保護することが重要です。

- 使用しているオペレーティングシステムが最新のものであることを確認してください。
- Windows のユーザーログインを有効にし、強力なパスワードを使用し、認証情報を機密扱いとしてください。
- 適切かつ最新のマルウェア対策およびウイルス対策を行なってください。

国内法によっては、データの紛失および/または盗難に対して免責されるには、全ての患者データを暗号化するように要求される場合があります。パソコン上の全データを保護するために、ドライブ暗号化機能(無料の Microsoft BitLocker など)を利用できます。NOAH を利用している場合は、NOAH のデータベース暗号化機能の利用を検討してください。

常にデータを安全な状態に保つようにしてください。

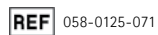
安全でない経路でデータを転送する場合は、匿名データにして送ってください。または、データを暗号化してください。バックアップデータを紛失だけでなく盗難からも保護してください。今後使用しないデータ媒体または廃棄予定のデータ媒体からは、全てのデータを消去してください。

ここに示した内容は全てを網羅したものではないことに、注意してください。

2021年 CE マーク取得



製造元
Sonova AG
Laubisrütistrasse 28
CH-8712 Stäfa
Switzerland



フォナック ターゲット7.1 DVD